

2013年 報道写真展

記者講演会

2014年

2月15日（土）

午後1時30分～3時30分（受付：午後1時から）

日本新聞博物館2階ニュースパーク・シアター

〈東京写真記者協会賞〉

読売新聞東京本社 繁田 統央氏

「見せましょう！日本の底力を」（2013年7月22日撮影）

さいたま市南区のJR南浦和駅・京浜東北線のホームで、電車から降りようとした女性の乗客がホームと車両の間にはさまれた。事故のアナウンスを聞いた乗客が自主的に降車、ホームにいた人たちや駅員らと協力して車両を押し、隙間を広げて女性を救出した。無事に救出されると、ホームにいた乗客らから拍手が起こった。



〈東京写真記者協会 奨励賞企画部門（国内）〉

毎日新聞東京本社 須賀川 理氏

「今年もふたりで～福島県飯舘村の春～」

2011年4月、全村避難が決まった飯舘村で農業を営んでいた男性は、足の悪い妻を気遣い、「生まれ育った村で、最後まで一緒に」と村に残ることを決めた。

2013年3月、妻は静かに息を引き取った。近隣から人の営みが消え、寄り添うように過ごした2年だった。

（左上：2013年4月撮影）男性は自宅前の桜を軒下で眺めていた。傍らの祭壇で妻が微笑み、一緒に花見を楽しんでいるように見えた。

（左下：2012年5月撮影）荒れ果てた田園風景の中で、いつもどおり花を付けた自慢の桜を、二人並んで愛でていた。

2013年報道写真展 記者講演会

日本新聞博物館は2月15日(土)、「2013年報道写真展 記者講演会」を開催いたします。

私たちが普段、新聞などで目にする報道写真はどのように撮られているのか。写真記者はどんな思いを抱えながら現場に向かい、被写体にカメラを向け、そしてシャッターを切るのか。受賞作となった写真の撮影時の様子や報道写真への思いなど、現場で取材している写真記者の生の声をこの機会にぜひお聞きください。

【第一部】講演 午後1時30分～2時30分

読売新聞東京本社編集局写真部 しげた のりひろ
繁田 統央氏
—「見せましょう！日本の底力を」撮影

毎日新聞東京本社編集編成局写真部 すかがわ おさむ
須賀川 理氏
—「今年もふたりで～福島県飯舘村の春～」撮影

【第二部】ディスカッション 午後2時30分～3時30分

〈コーディネーター〉

東京写真記者協会事務局長 はない たかし
花井 尊氏

【主催】 日本新聞博物館

【日時】 2014年2月15日(土)
午後1時30分～3時30分(受付:午後1時から)

【会場】 日本新聞博物館2階 ニュースパーク・シアター

【定員】 120人(申し込み先着順)

*聴講は無料ですが、当館の入館料が必要です。

【申し込み】 住所、氏名、電話番号、参加人数をお書きのうえ、「往復はがき」または「Eメール」でお申込みください。

*往復はがきの場合は、返信部分に宛先をご記入ください。

*Eメールの場合、添付ファイルはお受けできません。

*いただいた個人情報は、講演会以外の目的には使用いたしません。

【送り先】 〒231-8311 横浜市中区日本大通11 横浜情報文化センター内

日本新聞博物館「報道写真展 記者講演会」係

〈Eメール〉 photo140215@newspark.or.jp



日本新聞博物館《ニュースパーク》

〒231-8311 横浜市中区日本大通11 横浜情報文化センター内

TEL:045-661-2040 FAX:045-661-2029

<http://newspark.jp/newspark/>

